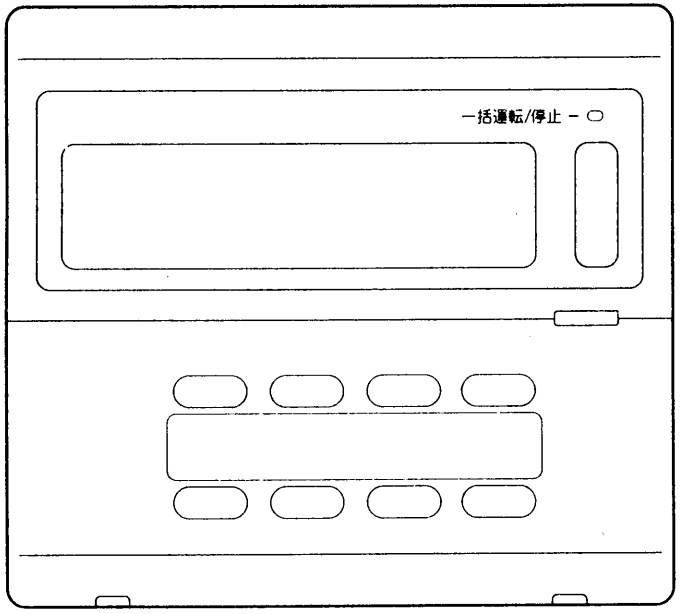
MITSUBISHI

三菱電機 ビル空調 フリープランシステム

VAVグループリモコン

WC-001AGR

取扱説明書



ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。

もくじ

ページ

1 安全のために必ず守ること …… 1
2 製品の機能 …… 3
3 各部の名称とはたらき …… 5
4 操作方法 …… 7
1．グループ別運転／停止方法 …… 7
2．一括運転／停止方法 …… 9
3．一括操作設定 …… 10
4．グループ別操作設定 …… 12
5．各種設定方法 …… 14
5 フィルタークリーニングサインリセット …… 17
6 異常が発生した場合 …… 20
7 初期設定 …… 21
Ⓐグループ設定 …… 26
Ⓑ連動機設定 …… 32
Ⓒ一括抹消 …… 38
8 自己診断・異常履歴 …… 39

1 安全のために必ず守ること

●ご使用の前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などに結び付く可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付くもの。

●お読みになった後は、据付説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書と据付説明書をお渡しください。

⚠警告

据付け状態を確認する。
本機が落下しないよう、堅固な場所に固定されていることをご確認ください。

定格の電源になっているか確認する。
火災や故障の原因になります。

異常時は運転を停止する。
異常のまま運転を続けると故障や感電・火災等の原因になります。異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して電源スイッチを切り、販売店にご相談ください。

改造・修理は絶対にしない。
改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。修理はお買上げの販売店にご相談ください。

お客様自身で移設はしない。
据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。
お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

お客様自身で本機を廃棄しない。
本機を廃棄する場合は、販売店にご相談ください。

本機にエラー表示が出て運転しなかったり、不具合が発生した場合は運転を停止する。
そのままにしておくと火災や故障の原因になります。お買上げの販売店にご連絡ください。

⚠注意

本機の周りに危険物を置かない。
可燃性ガスの漏れる恐れがある場所への設置は行なわないでください。万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火・爆発の原因になることがあります。

本機を水洗いしない。
感電、故障の原因になることがあります。

濡れた手でスイッチを操作しない。
感電、故障の原因になることがあります。

特殊用途に使用しない。
この製品は、三菱電機ビル空調フリーブランシステム用です。
他の空調機管理あるいは別の用途には使用しないでください。
誤動作の原因になることがあります。

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹きつけない。
可燃性スプレー等を本機の近くに置いたり、本機に直接吹きかけないでください。
発火、爆発の原因になることがあります。

特殊環境には使用しない。
油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと、性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

スイッチを先のとがったもので押さない。
破損、故障の原因になることがあります。

リモコンコードを引っ張ったり、捩ったりしない。
火災、故障の原因になることがあります。

使用温度範囲を守る。
使用温度範囲を守ってください。使用温度範囲から外れたところで使用しますと故障の原因になることがあります。
使用温度範囲は取扱説明書の仕様表をご確認ください。
また、取扱説明書に記載がない場合は0℃～40℃となります。

本機を分解しない。
内部の基板などに触れますと危険なうえ、火災、故障の原因になることがあります。

本機をベンジンやシンナー、化学雑巾などでふかない。
変色、故障の原因になることがあります。汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤を布につけ、よく絞った状態でふき取り、乾いた布でふきあげてください。

2 製品の機能

1．特徴

- 本機で、16台までのＶＡＶユニットと８台までのエアハンドリングユニットを操作できます。
- 最大で８個のグループにＶＡＶユニットとエアハンドリングユニットを割り振り、操作できます。
- 操作部ドアを閉じた状態で次の操作ができます。
  - グループ別運転／停止 …… 各グループ独立したボタンで行ないます。
  - すべてのグループを運転／停止 … 一括運転／停止ボタンで行ないます。
- 操作部ドアを開けた状態で次の操作ができます。
  操作は各グループごとまたはすべてのグループを一括して行ないます。
  - 各種設定操作 …… 運転／停止、運転モード、室温調節、強制給気、外部タイマーの設定等。

2．本機には次の表に示すような機能があります

機能			内容
通常機能	操作※	運転／停止	本機に登録されているユニットの運転／停止を行ないます。
		運転モード	冷房／除湿／送風／(自動)／暖房／換気の切換え操作ができます。
		設定温度	温度設定操作ができます。 設定温度範囲 { 冷房／外気冷房／除湿運転時 : 19℃～30℃ 自動運転時 : 19℃～28℃ 暖房運転時 : 17℃～28℃
		強制給気	強制的に給気を行ないます。
		タイマー運転	別売のスケジュールタイマー（ＰＡＣ－ＳＣ31ＳＴ）を使用してスケジュール運転有効／無効の切換操作ができます。
		フィルターリセット	フィルター清掃後にフィルターの表示を消します。

※操作は、全グループ一括または各グループごとに行なえます。

機能			内容
通常機能	モニタ	一括運転／停止	運転／停止ランプにて表示します。
		グループ別運転／停止	液晶に表示します。
		運転モード	
		設定温度	
		タイマー運転	
		フィルターサイン	
		強制給気	
		本機操作禁止	
		異常	異常発生中のユニットのアドレスと異常コードを液晶に表示します。
初期設定機能	操作	グループ設定	ユニット（VAVユニット・エアハンドリングユニット・VAVリモコン）のグループ設定を行ないます。
		連動設定	エアハンドリングユニットと他の連動機(ロスナイ等)との連動設定、及びエアハンリモコンの接続設定を行ないます。
	モニタ	異常履歴	最新の異常内容を過去にさかのぼり最大で10個まで表示します。
システム制約	登録台数	VAVユニット	最大16台
		エアハンドリングユニット	最大８台
		１グループのVAVユニット台数	最大16台
		１グループのエアハンドリングユニット台数	管理するグループには必ず１台の登録が必要です。
		１台のエアハンドリングユニットと連動運転できる連動機の台数	フィルターユニット …… 最大２台 ロスナイ、またはフレッシュマスター …… １台 左記それぞれを組合わせて設定できます。

3 各部の名称とはたらき

1．操作部ドアを閉じた状態

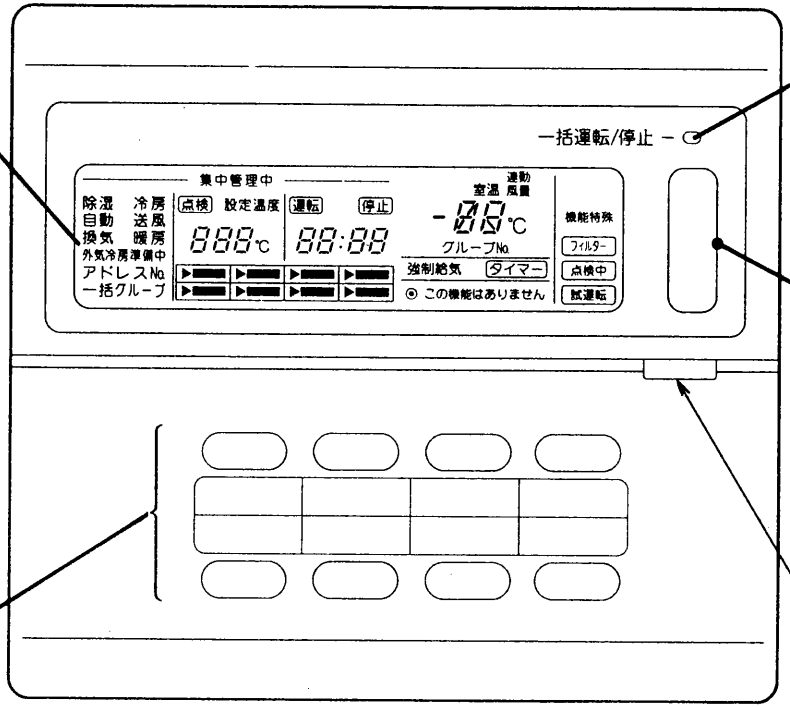
ドアを閉じた状態では、次の操作を行なうことができます。

- ●一括運転／停止操作　　：登録されているユニットすべてを一括して行ないます。
- ●グループ別運転／停止操作：各グループごとに運転／停止を行ないます。
- ●各操作につきましては（　）で示すページに記載してあります。

（リモコンのイラストは説明のためすべての表示が点灯した状態を示したもので実際とは異なります。）

表 示 部

操作内容、設定内容等を表示します。



一括運転／停止ランプ

点灯：１グループ以上運転中
消灯：全グループ停止中
点滅：登録ユニット異常

一括運転／停止ボタン（P9）

全グループ停止中に押すと全グループ運転となり、１グループ以上運転中に押すと全グループ停止となります。
また異常表示の一括解除を行ないます。

グループ別運転／停止ボタン（P7）

グループごとに運転／停止を行ないます。
また、グループごと異常表示の解除を行ないます。

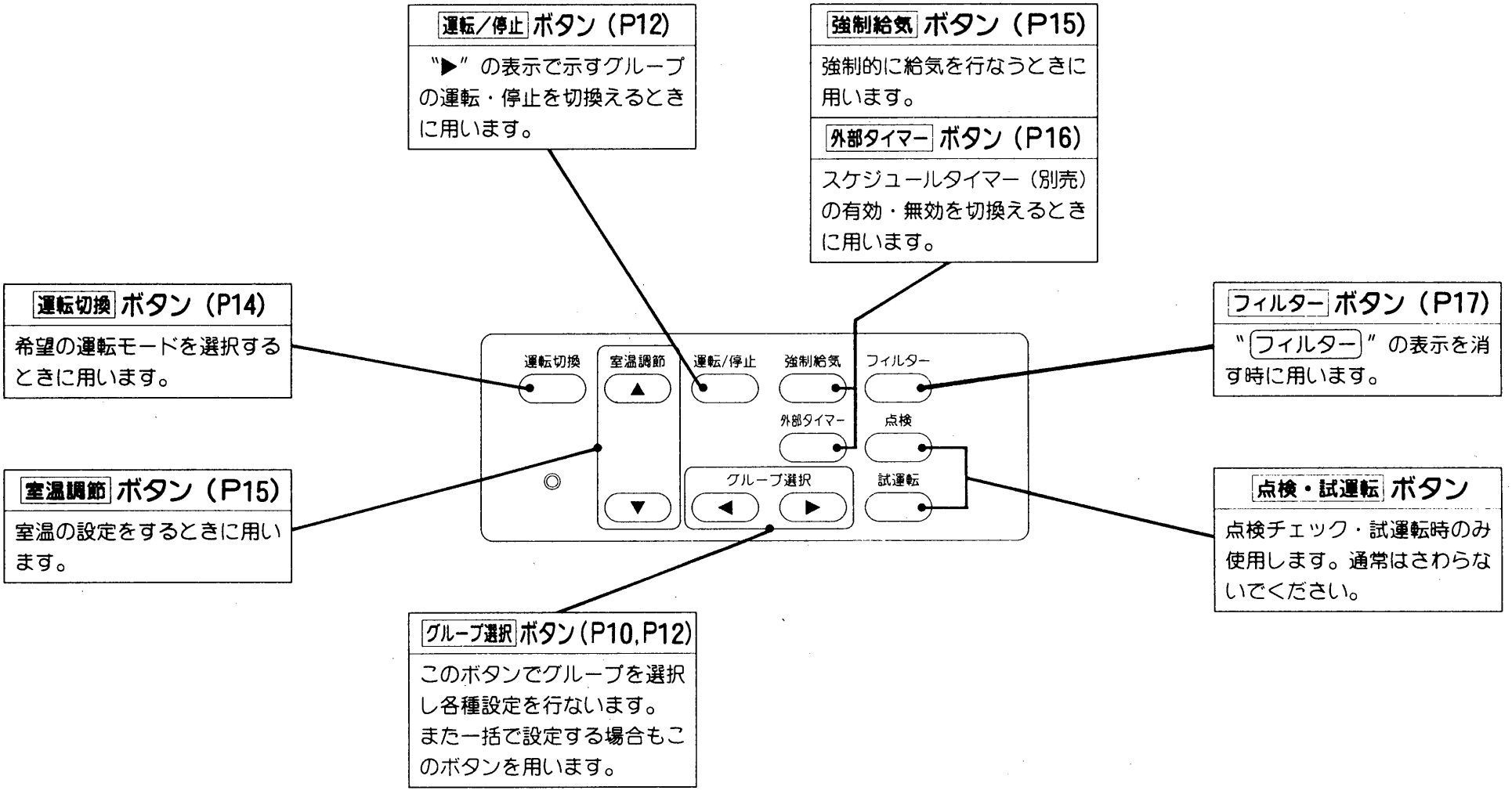
操作部ドア

（次ページに開けた状態について説明します。）

2．操作部ドアを開けた状態

ドアを開けた状態では、次の操作を行なうことができます。

- ユニットの各設定　　：運転モード、温度設定、強制給気
- タイマー運転切換え　　：通常の運転を行なうか、タイマー運転を行なうかを選択。
- 一括／グループごとの運転／停止操作
- 点検・試運転・フィルターサインリセット

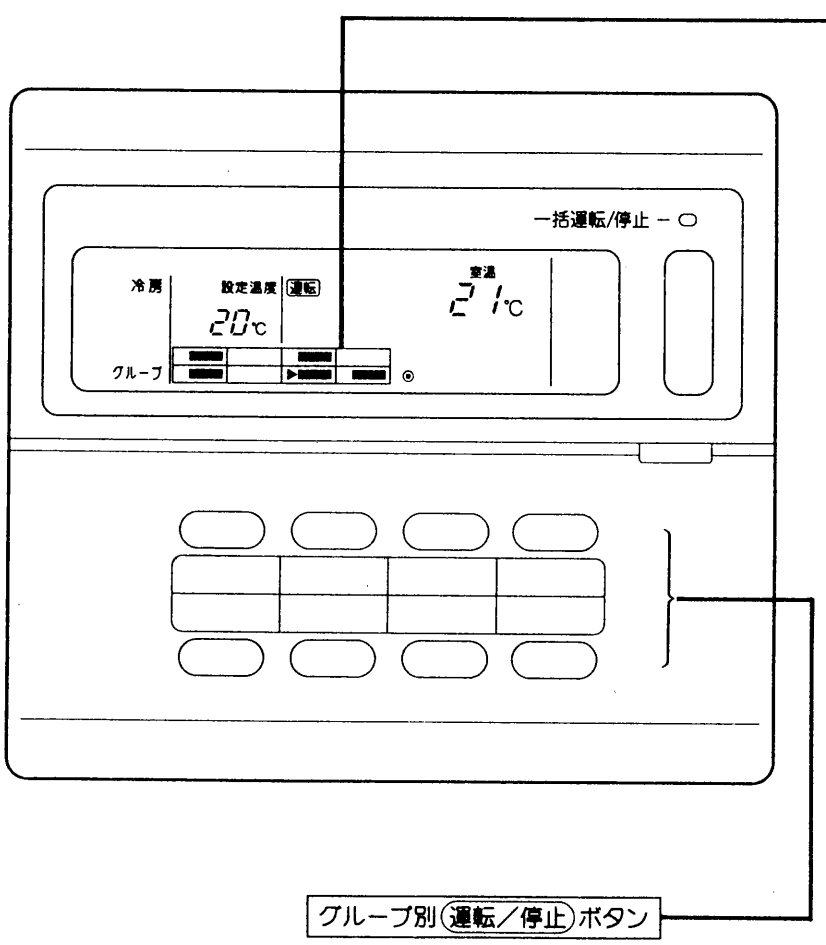


4 操作方法

- 本機の操作について説明します。
- 操作するボタンは（　　）で、液晶の表示は〝　〟で説明します。
- なおグループNo.の割り付けについてはＶＡＶグループリモコンのアドレスNo.を２０１に設定した場合で説明します。

1．グループ別運転／停止方法

本機で管理するユニットをグループごとに操作します。



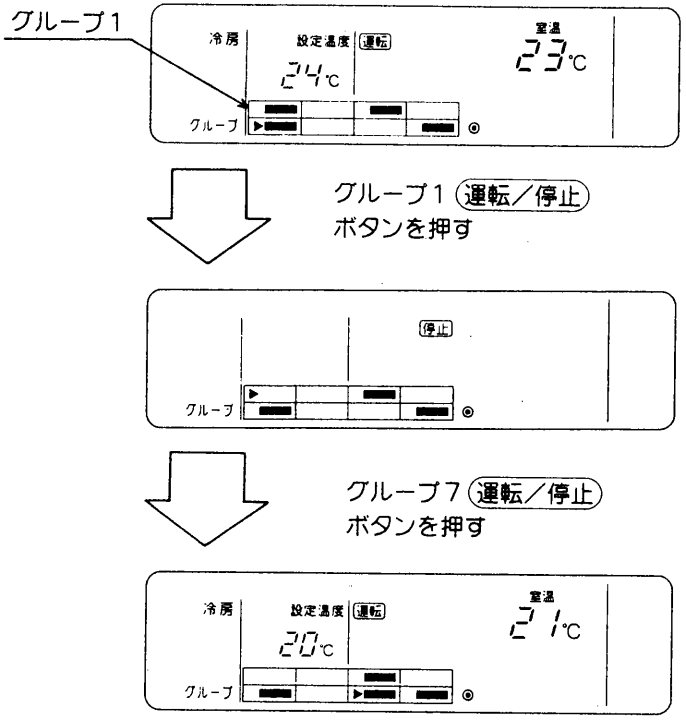
グループ別（運転／停止）ボタンを押します

ボタンの配列はグループ表示部のグループの割り付けと同じです。運転を行ないたいグループのボタンを操作してください。

- （運転／停止）ボタンを押したグループは運転→停止、または停止→運転に切換わります。
- 最後に（運転／停止）ボタンを押したグループの運転状態を画面に表示します。（グループ別　設定／モニタ画面次のページで説明します）
- 上位システムコントローラから運転／停止操作の禁止を設定されている場合。
  〝－集中管理中－〟が点灯中のとき
  このときに操作しますと〝－集中管理中－〟が点滅し操作できないことをお知らせします。

表示例 グループ別　設定／モニタ画面

- グループ表示部の内容
  - "▬▬" …… 運転しているグループの箇所に点灯
  - "▶" …… 選択したグループの箇所に点灯
- その他の部分の表示は "▶" で示したグループの操作／設定内容となります。



〈グループ１停止の操作を行なった場合〉

- グループ１に "▶" が点灯、同時に "停止" が点灯します。
- グループ３、５、８は運転中です。

※グループ番号の割り付けについては25ページの「グループNo.の割り付け」を参照してください。

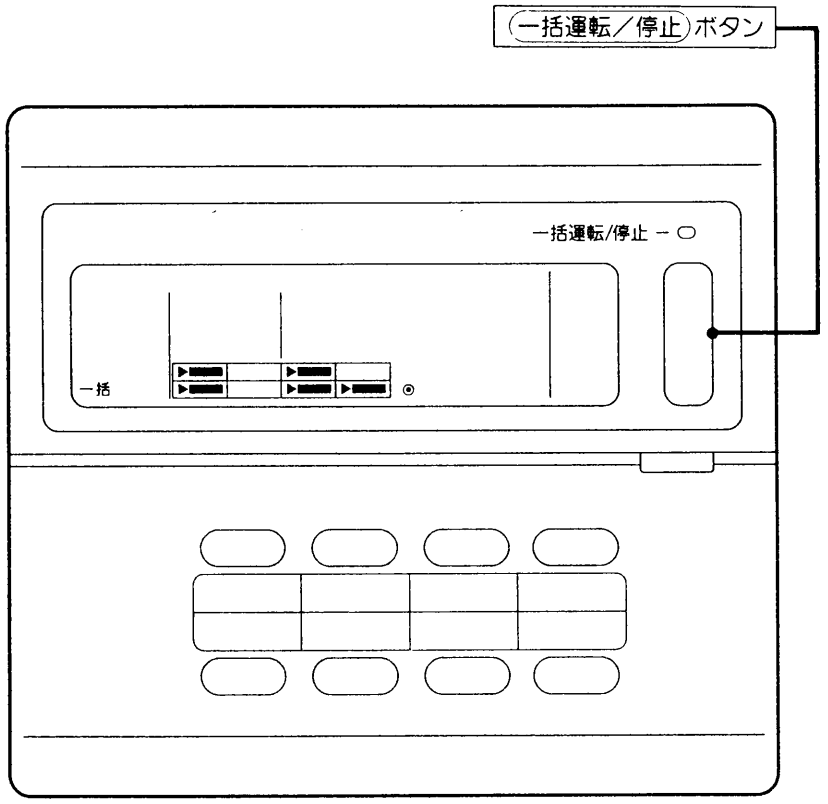
〈グループ７運転の操作を行なった場合〉

- グループ７に "▶" が点灯、同時に "運転" が点灯します。
- グループ３、５、８は運転中です。

- 登録されていないグループの 運転／停止 ボタンを押しますと、そのグループを示す "▶" が点滅し未登録であることをお知らせします。

2．一括運転／停止方法

本機で管理するすべてのグループを一括して操作します。

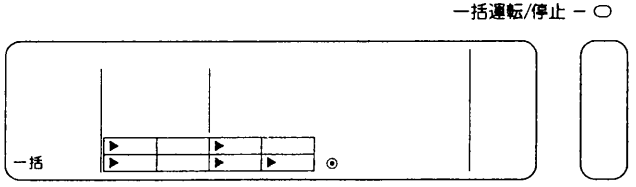


一括運転／停止ボタンを押します

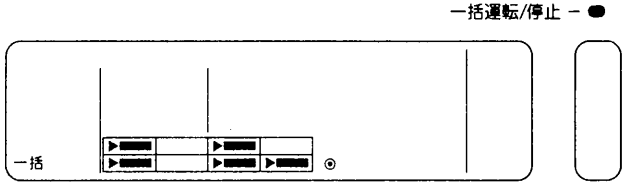
- 登録ユニットが１台以上運転している場合は、すべてのユニットが停止します。
- 登録ユニットがすべて停止している場合は、すべてのユニットが運転します。
- 上位システムコントローラの設定で運転／停止操作が禁止されている場合 〝－集中管理中－〟 が点滅し、操作できないことをお知らせします。

表示例 一括モニタ画面

〈停止中の場合〉

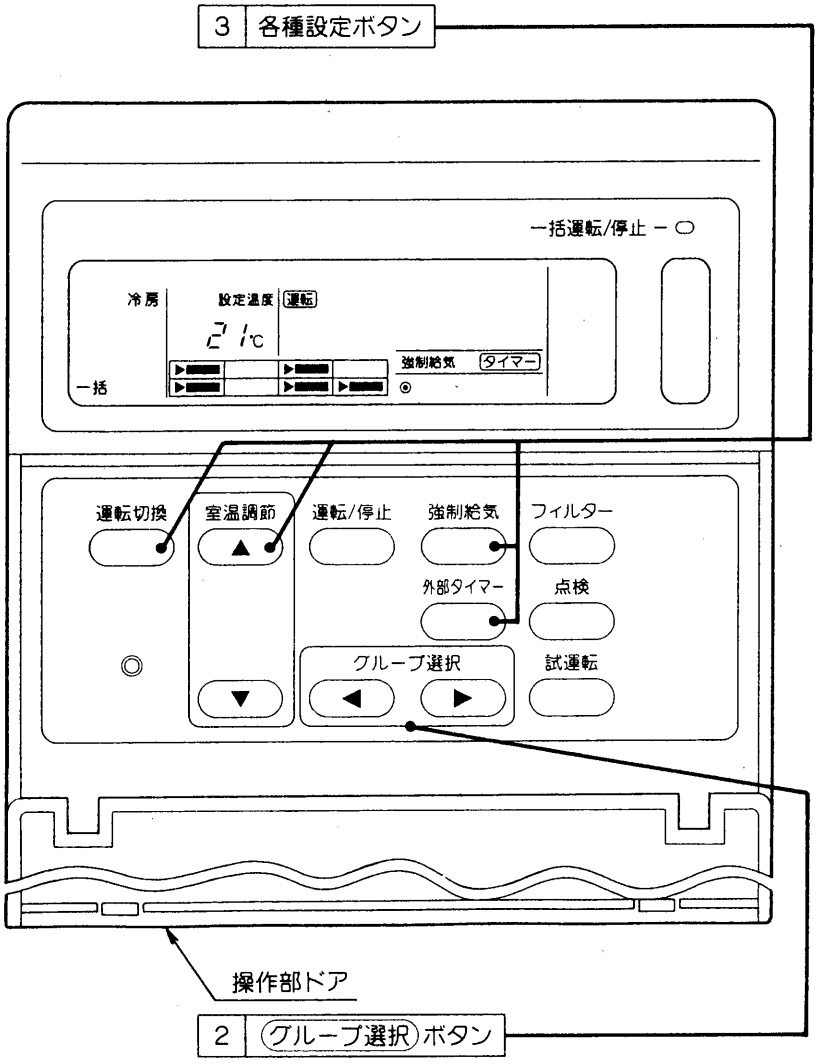


〈一括運転中の場合〉



3．一括操作設定

本機で管理するすべてのグループのユニットを一括して操作します。



1 操作部ドアを開けます

2 グループ選択ボタンを押し一括設定画面を出します。

- ◀ボタンを押しますと"▶"が左方向へ、▶ボタンを押しますと右方向へ移動します。

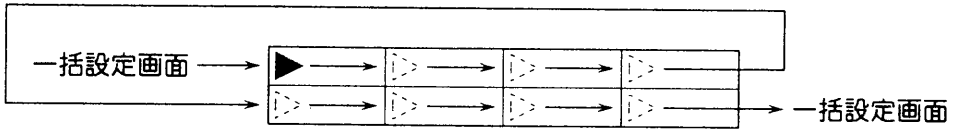
  設定内容も選択されたグループの内容を順次表示します。
  （登録されていないグループはスキップします。）

- グループ１からさらに左方向へ、またはグループ８からさらに右方向へ移動させると、一括設定画面になります。

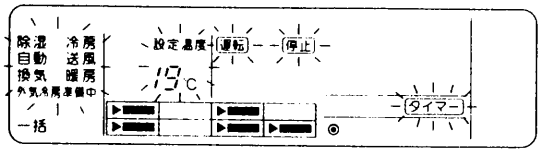
※本機のアドレスNo.を２０１に設定した場合グループ表示部のグループNo.番号の割り付けは下記のようになります。
（詳細は26ページのグループNo.の割り付けを参照ください）

1	2	3	4
5	6	7	8

- 表示は下記に示す矢印の順に変わります。
  ▶ボタンの場合を示します。
  ◀ボタンの場合矢印とは逆の順に変わります。

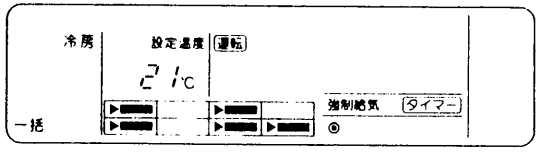


表示例 一括設定画面

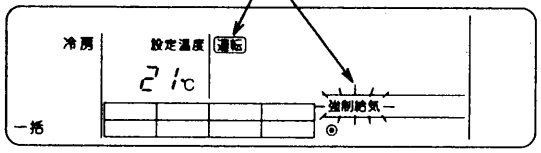


◎登録完了画面

操作設定された項目は点灯表示に変わります。



"運転"が点灯しますと、
"強制給気"が点滅します。



◎強制吸気は"運転"が点灯しますと選択できるようになります。

●一括設定画面では、設定できる項目が点滅表示します。
また登録グループすべてに"▶"が点灯します。

※(一括運転／停止)ボタンによって一括運転している場合に、操作部ドアを開けますと一括設定画面になります。

3	各種設定操作を行ないます。

●運転モード、室温調節、強制給気、外部タイマーの一括設定を行ないます。(詳細は14ページの、5．各種設定方法をご覧ください。)

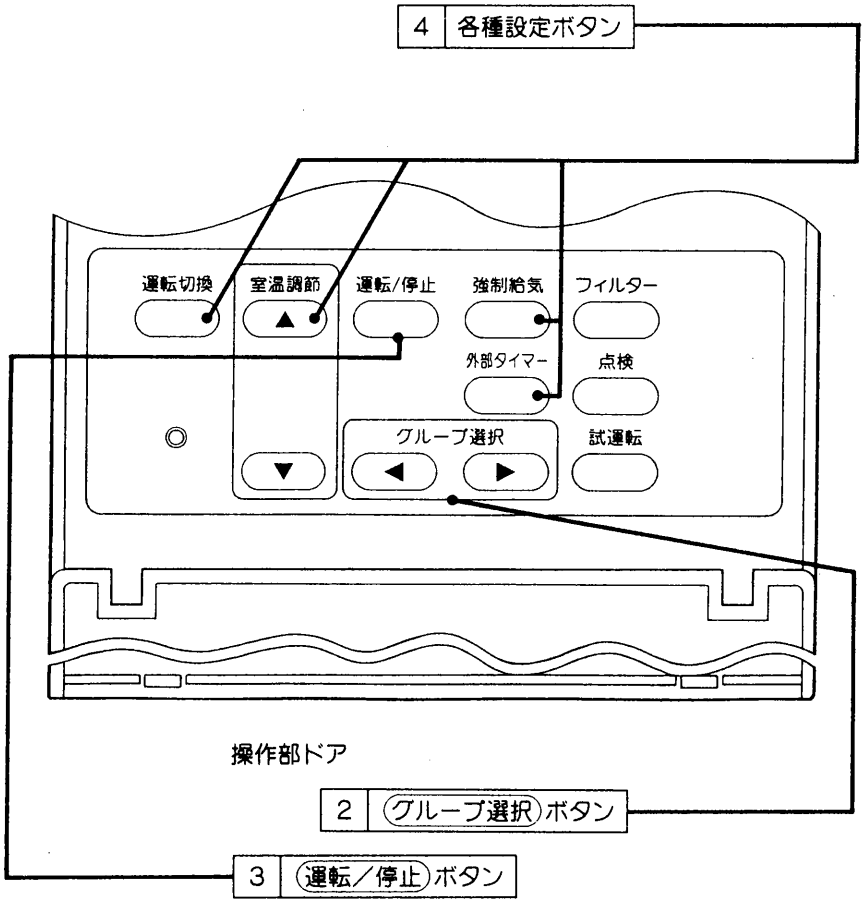
●設定操作を行ないますと、表示は点滅から点灯に変わります。

●一括設定を行なわない設定項目は点滅のままです。この場合、一括設定されていない項目はグループ別操作設定にて設定された内容が継続されます。

4	操作部ドアを閉めます。

●一括モニタ画面になります。

4．グループ別操作設定



1 操作部ドアを開けます

2 グループ選択ボタンを押し操作設定したいグループを出します。

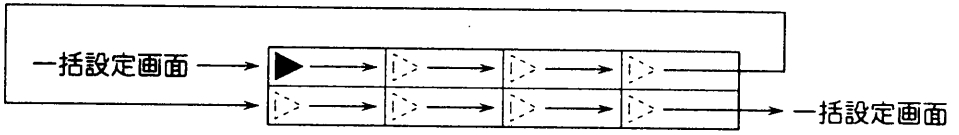
- ◀ ボタンを押しますと "▶" が左方向へ、▶ ボタンを押しますと右方向へ移動します。

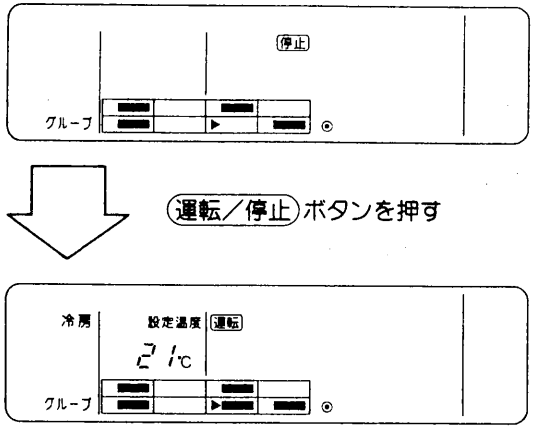
  設定内容も選択されたグループの内容を順次表示します。
  （登録されていないグループはスキップします。）

※本機のアドレスNo.を２０１に設定した場合グループ表示部のグループNo.の割り付けは下記のようになります。
（詳細は26ページのグループNo.の割り付けを参照ください）

1	2	3	4
5	6	7	8

- 表示は下記に示す矢印の順に変わります。
  ▶ ボタンの場合を示します。
  ◀ ボタンの場合矢印とは逆の順に変わります。





◎運転の状態にします。

3	選択したグループが停止している場合(運転／停止)ボタンを押します。

●選択したグループを運転の状態にしてから各種設定を行ないます。

4	各種設定操作を行ないます。

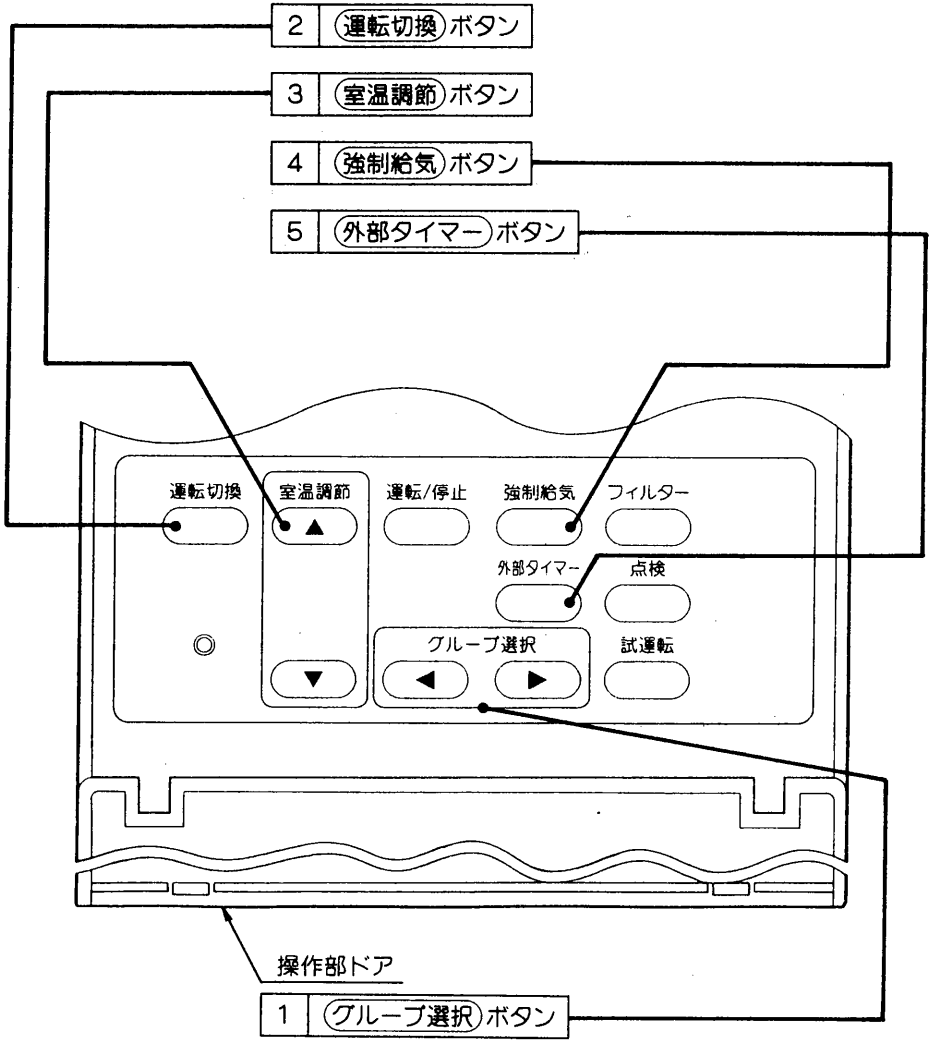
●運転モード、室温調節、強制給気、外部タイマーの一括設定を行ないます。
（詳細は14ページ、5．各種設定方法をご覧ください。）

●選択機能のないユニットがグループに登録してある場合。
ボタンで押した内容の表示と“この機能はありません”の表示が点滅し設定できないことを示します。

5	操作部ドアを閉めます

●一括モニタ画面になります。

5．各種設定方法



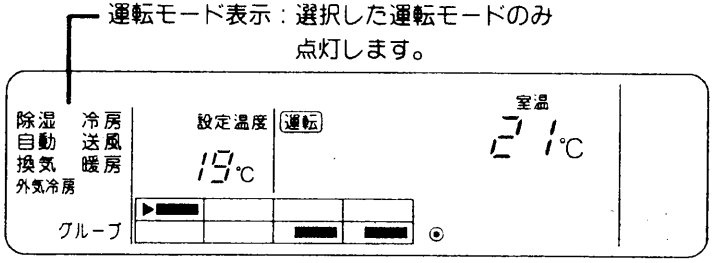
1 (グループ選択)ボタンを押します。

- 設定を行ないたいグループの画面、または一括設定画面を表示させます。
  （10ページ、12ページを参照ください）
  ここで各種設定を行ないます。

2 (運転切換)ボタンを押します。

- ボタンを押すごとに冷房→除湿→送風→〈自動〉→暖房→換気の順に切換わります。
  〈自動〉の機能がないユニットがグループに登録してある場合この運転モードは表示されません。

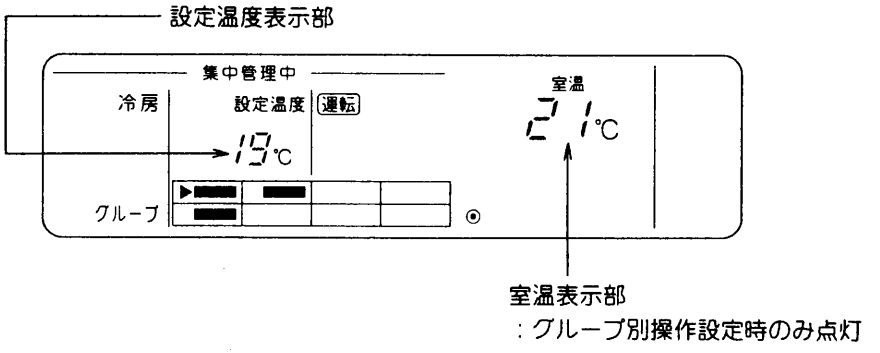
- 上位システムコントローラから操作禁止が設定されている場合。
  〝－集中管理中－〟が点灯中のとき。
  このときに操作しますと〝－集中管理中－〟が点滅し操作できないことをお知らせします。



お知らせ　外気冷房のモードはリモコンで選択できません。冷房運転中に、外気温度が低下し外気導入による冷房が可能な状態になるとエアハンユニットが自動的に判断して行ないます。

3 (室温調節)ボタンを押します。

- (▲)または(▼)ボタンを１回押すごとに設定温度が１℃ずつ変わります。



- 設定温度範囲は次のとおりです。

冷房／外気冷房／除湿	19℃～30℃
暖　　房	17℃～28℃
自　　動	19℃～28℃

- 送風／換気運転では室内温度の設定はできません。

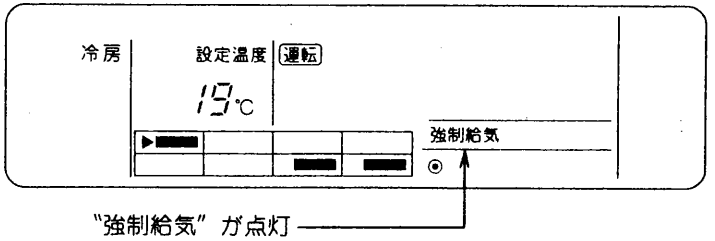
- 上位システムコントローラからの操作で室温調節が禁止されている場合。
  "－集中管理中－"が点灯中のとき。
  このときに操作しますと"－集中管理中－"が点滅し操作できないことをお知らせします。

- 一括設定画面での設定温度範囲は運転モードに関係なく17℃～30℃で設定できますが、実際には各グループの運転モードでの設定温度の範囲となります。

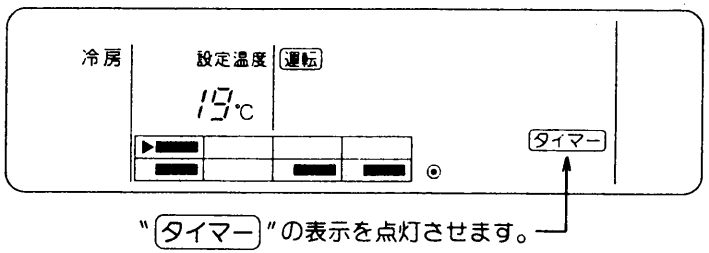
- 室温表示部には、選択したグループで最小アドレスNo.のＶＡＶユニットが設置されている室内の温度を表示します。
  この表示はグループ別操作設定時のみ点灯します。

4 (強制給気)ボタンを押します。

- ボタンを押しますと選択したユニットの強制給気を行ないます。
  （ユニットが運転中の場合のみ可能です）
  もう一度押しますと強制給気を解除します。



5 外部タイマーボタンを押します。



- タイマー運転は別売のスケジュールタイマー（PAC－SC31ST）を接続した場合のみ可能です。外部タイマーボタンを押し"タイマー"を点灯させます。この操作によりタイマーによる運転が可能となります。

- ボタンを押すたびに外部タイマー有効／無効に切換わります。

- スケジュールタイマーが接続されていないのに、このボタンを押しますと"この機能はありません"と"タイマー"が点滅し操作できないことをお知らせします。

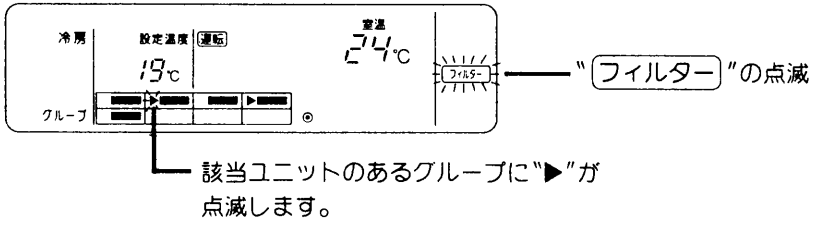
- 上位システムコントローラからの操作でタイマーの設定が禁止されている場合。
  "－集中管理中－"が点灯中のとき。
  このときに操作しますと"－集中管理中－"が点滅し操作できないことをお知らせします。

5 フィルタークリーニングサインリセット

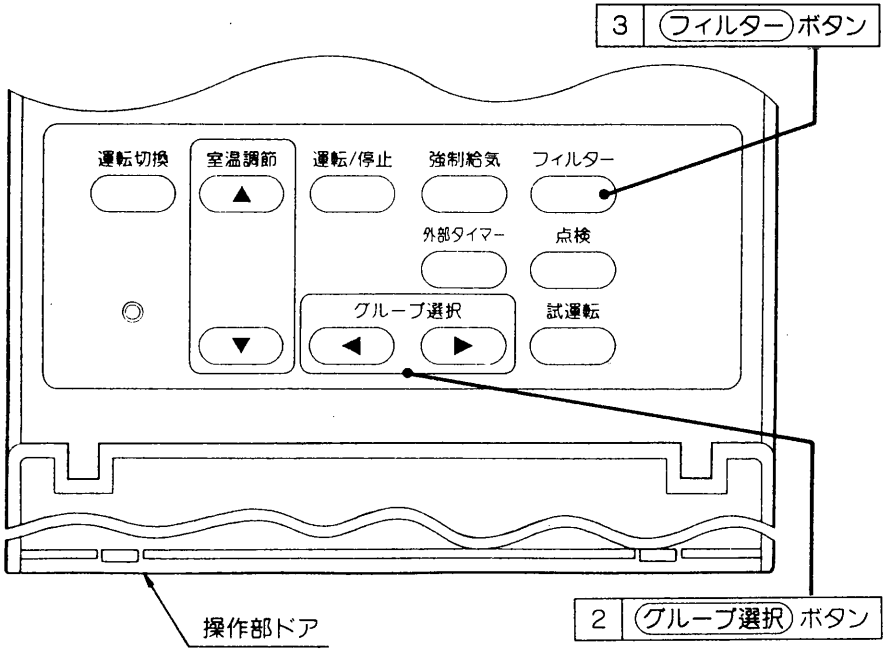
●フィルター清掃時期が来ますと "フィルター" と該当するユニットが登録されているグループに "▶" が点滅します。

●この表示が出ましたら該当するユニットのフィルターを清掃してください。

●清掃後、下記に示す操作を行ない "フィルター" をリセット（表示を消す）します。



1．グループ別フィルタークリーニングサインリセット



1	操作部ドアを開けます

2	グループ選択ボタンを押し操作設定したいグループを出します。

●◀ボタンを押しますと "▶" が左方向へ、▶ボタンを押しますと右方向へ移動します。

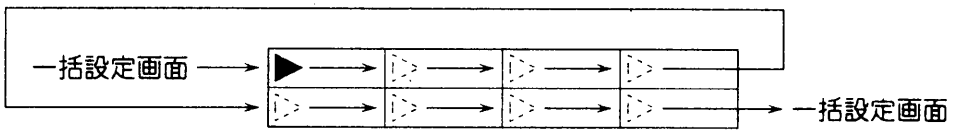
設定内容も選択されたグループの内容を順次表示します。
（登録されていないグループはスキップします。）

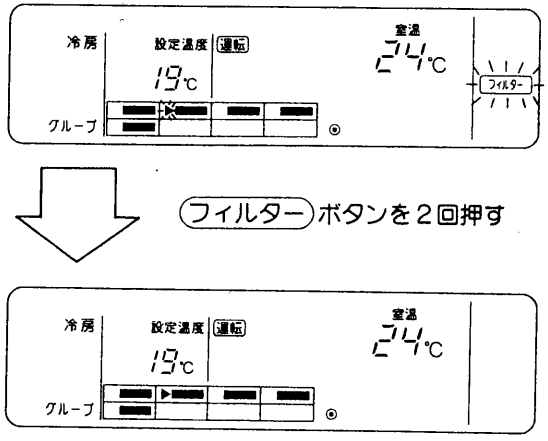
●グループ１からさらに左方向へ、またはグループ８からさらに右方向へ移動させると、一括設定画面になります。

※本機のアドレスNo.を２０１に設定した場合グループ表示部のグループNo.番号の割り付けは下記のようになります。
（詳細は26ページのグループNo.の割り付けを参照ください）

1	2	3	4
5	6	7	8

●表示は下記に示す矢印の順に変わります。
（▶）ボタンの場合を示します。
（◀）ボタンの場合矢印とは逆の順に変わります。





3	フィルターボタンを押します。

●フィルターボタンを２回続けて押しますと“フィルター”が消灯します。
同時に“▶”が点滅から点灯に変わります。

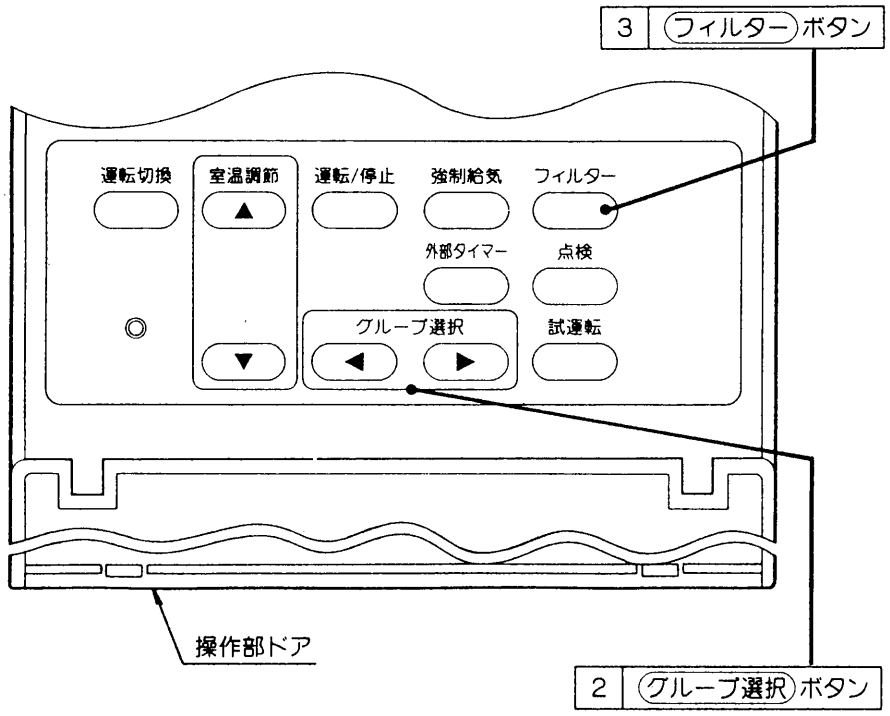
●上位システムコントローラからの操作でリセットの操作が禁止されている場合。

“－集中管理中－”が点灯のとき
このときに操作しますと“－集中管理中－”が点滅し操作できないことをお知らせします。

4	操作部ドアを閉めます

●選択されているグループの運転状態を表示します。

2．一括フィルターサインリセット



1 操作部ドアを開けます

2 グループ選択ボタンを押しグループを選択します。

- ◀ボタンを押しますと〝▶〟が左方向へ、▶ボタンを押しますと右方向へ移動します。

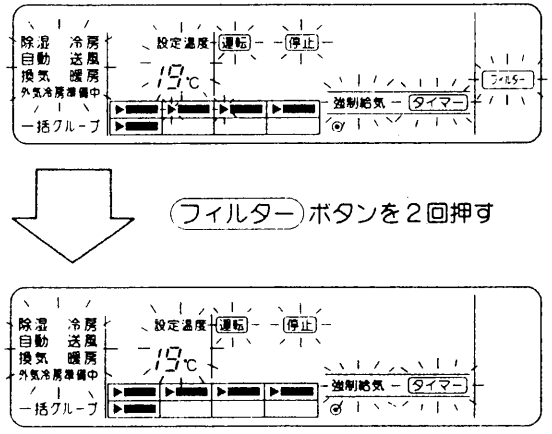
  グループ別フィルターサインリセットのときと同様に操作し一括設定画面にします。

3 フィルターボタンを押します。

- フィルターボタンを２回続けて押しますと〝フィルター〟が消灯します。
  同時に〝▶〟が点灯に変わります。

- 上位システムコントローラからの操作でリセットの操作が禁止されている場合。

  〝－集中管理中－〟が点灯のとき。
  このときに操作しますと〝－集中管理中－〟が点滅し操作できないことをお知らせします。



4 操作部ドアを閉めます。

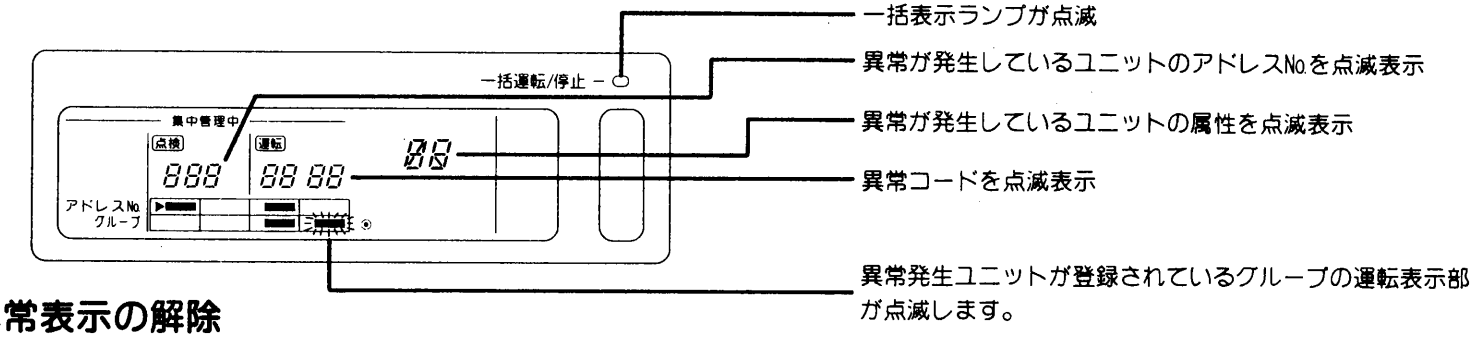
- 一括モニタ画面になります。

6 異常が発生した場合

1．異常が発生した場合、下記のように表示します。

異常が発生しているユニットアドレス
異常コード

●この場合次の内容を確認したうえで、お買い上げいただいた販売店またはサービスセンターへご連絡ください。

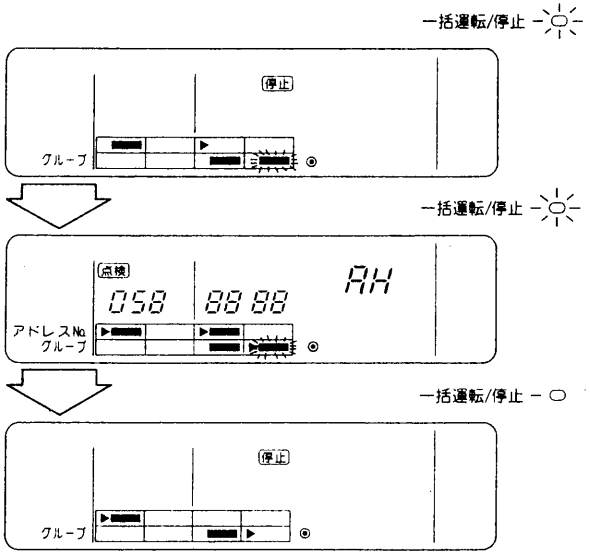


2．異常表示の解除

下記①、②の操作を行なうことにより異常の表示は解除されます。

①(一括運転／停止)ボタンを押す。
この場合、全グループが停止となります。

②操作部のドアを開け、異常発生グループを呼び出し、(運転／停止)ボタンを押す。
この場合、ボタンで呼び出された異常発生グループのみが停止となります。



操作部ドアを開けますと、一番最後に操作されたグループの設定内容を表示します。
（異常を示す表示は継続して点滅します）

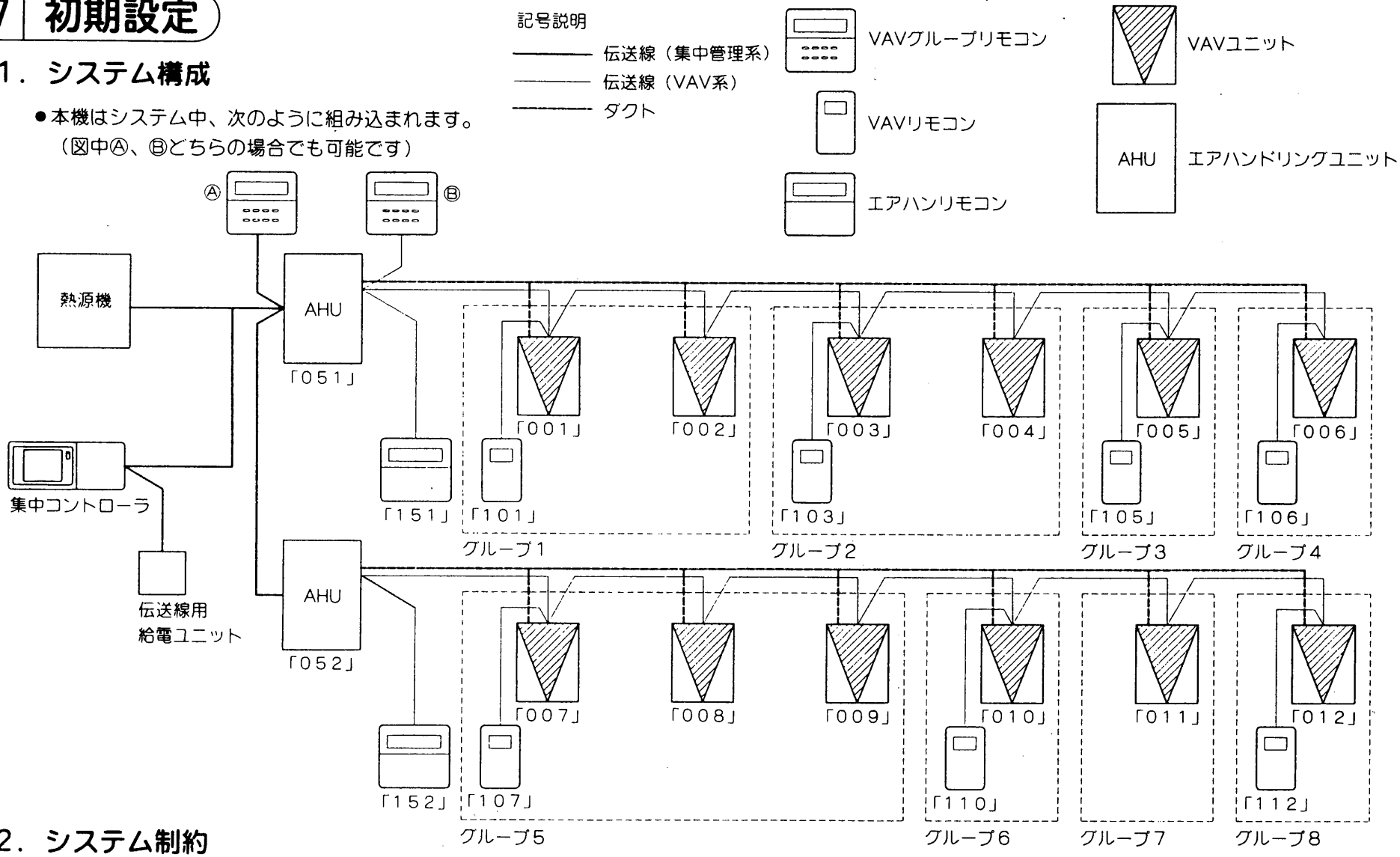
(グループ選択)ボタンで、異常発生グループを呼び出します。

(運転／停止)ボタンを押しますと異常は解除され、グループは停止します。

7 初期設定

1．システム構成

●本機はシステム中、次のように組み込まれます。
（図中Ⓐ、Ⓑどちらの場合でも可能です）



2．システム制約

●登録台数

VAVユニット …… 最大16台
エアハンドリングユニット …… 最大8台

●1つのグループに登録できる台数

VAVユニット …… 最大16台
エアハンドリングユニット …… 1台

●すでにグループに登録されたＶＡＶユニットは別のグループに登録はできません。

●エアハンドリングユニットは複数のグループに登録できます。

●別々のダクトに設置されているＶＡＶユニットは同じグループとして登録はできません。

●エアハンリモコン、ＶＡＶリモコン、上位システムコントローラ（集中コントローラ等）と併用できます。
但しＶＡＶグループリモコンどうしを上位、下位に設定して管理はできません。

●ＶＡＶグループリモコンは１系統に複数接続できます。

●上位システムコントローラがある場合、本機で初期設定は行なえません。

●本機が単独で集中管理系に接続される場合、伝送線用給電ユニット（PAC－SC33KU）が必要となります。

3．各ユニットを本機のみで管理する場合次のような設定が必要となります。

●本機が上位システムコントローラで管理されている場合は、上位システムコントローラにて初期設定を行ないます。

Ⓐグループ設定
●本機で管理する１～８のグループそれぞれにＶＡＶユニット、エアハンドリングユニット、ＶＡＶリモコンの登録をします。

Ⓑ連動機設定
●各グループに登録されているエアハンドリングユニットと、他の連動機種（ロスナイ）が連動運転できるように登録します。
また、エアハンリモコンを接続設定します。

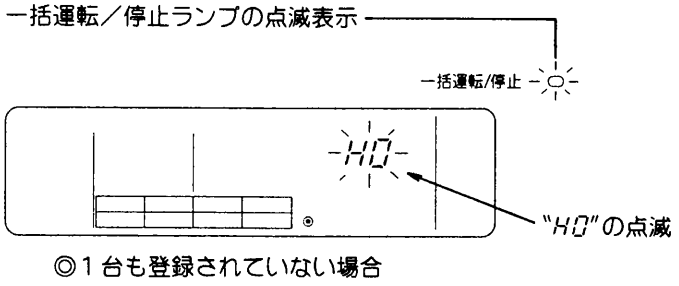
©一括抹消
●本機に設定されている内容をすべて抹消します。

上記、Ⓐ，Ⓑ，©の操作を行なうために、まずリモコンの画面を初期設定モード画面にします。

4．リモコンに給電が開始されますと次のような表示がでます。

（1）、（2）、（3）、いずれかの状態から初期設定モード画面にします。

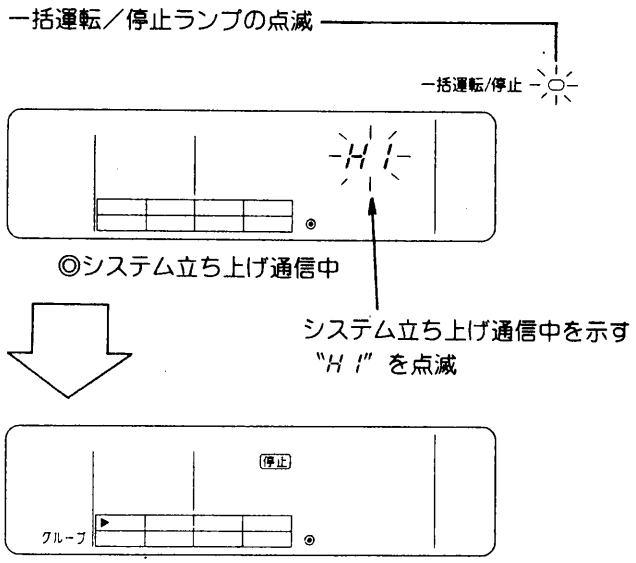
（1）ユニットが１台も登録されていない場合。



◎１台も登録されていない場合

（2）すでにユニットが登録してある場合。

●システム立ち上げ通信が完了しますと、グループ設定／モニタ画面となります。



◎グループ別設定／モニタ画面
登録ユニットがある場合

（3）登録されているユニットが１台でも次のようになっている場合、
初期設定はできません。

次に示す処理を行なってから初期設定を行ないます。

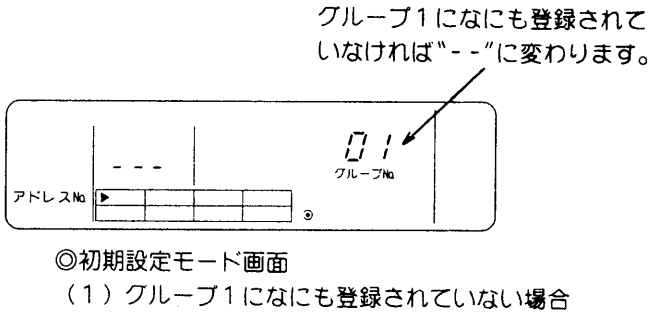
- 運転中 …… ユニットを停止させます。
- 外部タイマーが設定されている … 外部タイマーの設定を無効とします。
  "タイマー" を消灯させます。
  （16ページ参照）
- 異常表示 …… 異常表示を解除します。
  （20ページ参照）

5．初期設定モード画面にします。

- (フィルター)と(外部タイマー)ボタンを同時に押しますと初期設定モード画面になります。
  （グループ１の内容を表示）
- この状態からⒶ、Ⓑ、©の各設定を行ないます。

（１）登録ユニットがない場合

- 登録ユニットがない場合、右記画面になります。

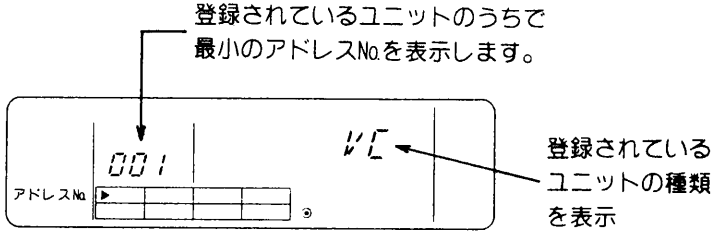


◎初期設定モード画面
（１）グループ１になにも登録されていない場合

（２）登録ユニットがある場合

- 登録ユニットがすでにある場合、登録されているユニットのアドレスNo.と種類を表示します。

- グループ１に登録ユニットがある場合、（１）の画面を表示した後、右記画面に変わります。



◎初期設定モード画面

6．初期設定モードを解除します。

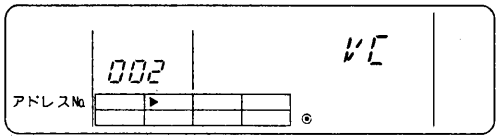
●各設定が終了しましたら(フィルター)と(外部タイマー)ボタンを同時に押します。

この操作によりグループ設定情報を記憶し、システム立ち上げ通信を行ないます。これが終了しますとグループ別設定／モニタ画面となります。
システム立ち上げ通信中は"H 1"が点滅します。

●ＶＡＶユニットのみ、またはエアハンドリングユニットのみの登録ですと解除できません。グループ表示部に"H2"が点滅します。

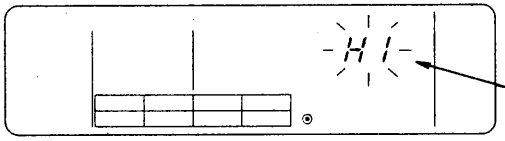
この場合もう一度(フィルター)と(外部タイマー)ボタンを押しますと"H2"の点滅が解除されますので登録をやりなおしてください。

お願い	"H 1"の表示が点滅しているときに電源を切らないでください。設定した情報が消えてしまいます。



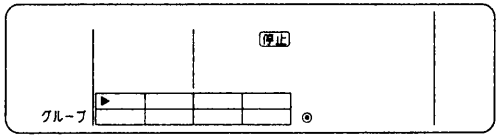
◎登録終了画面

(フィルター)と(外部タイマー)ボタンを押す



"H2"点滅の場合
解除できません

しばらくしますとグループ1
を選択した状態になります。



◎グループ別設定／モニタ画面

Ⓐ グループ設定

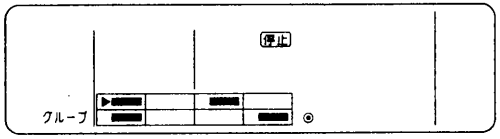
●本機で管理する１～８のグループそれぞれにユニットを登録します。
以下の手順で操作内容を説明します。

①グループを選択
↓
ユニットを登録するグループを選択します。
↓
②ユニットを選択
↓
グループに登録するユニットを選択します。
↓
③ユニットをグループに登録

④登録ユニットの検索

⑤グループからユニットを削除

●グループNo.の割り付け
本機は設定するアドレスNo.によってグループNo.の割り付けが決まります。



グループ表示部：グループNo.の割り付け

1	2	3	4
5	6	7	8

●本機アドレス設定範囲：２０１～２５０
管理するグループNo.：
本機設定アドレス－２００から
本機設定アドレス－２００＋７

（例）リモコンのアドレスを２０１に設定した場合
管理するグループNo.：グループ１からグループ８
（左記のように割り付けられます）

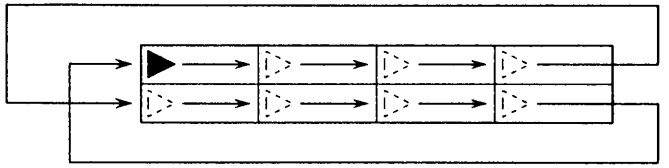
２０２に設定した場合
管理するグループNo.：グループ２からグループ９

① グループを選択

（１）ユニットを登録したいグループを選択します。

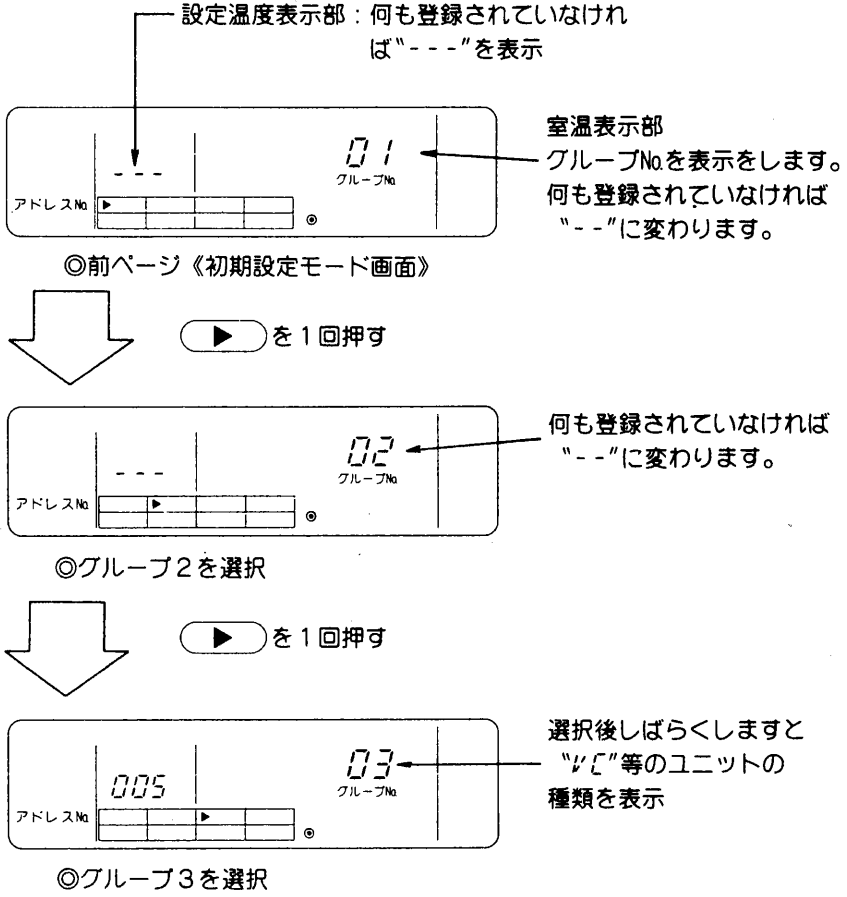
●グループ選択（◀）ボタンを押しますと〝▶〟が左方向へ、また（▶）ボタンを押しますと右方向へ移動します。
また、室温表示部にはグループ番号を表示します。

グループ表示部の〝▶〟は右記に示す矢印の順に変わります。
（以後説明はグループリモコン設定アドレスが２０１の場合で
行ないます）



（２）選択したグループに登録されているユニットがある場合。

●登録ユニットのあるグループを選択した場合、そのグループに登録されているユニットの中で最小のアドレスNo.を表示します。

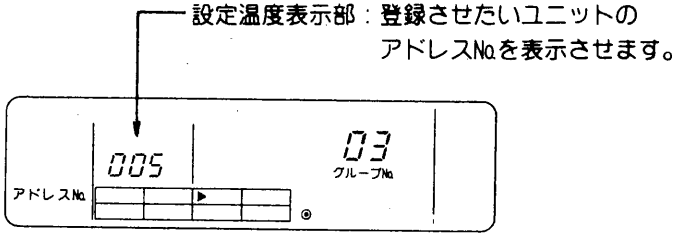


●右記表示例ではグループ３にすでにアドレスNo.００５のユニットが登録してあることを示します。

●グループNo.の表示はしばらくしますと表示しているアドレスNo.のユニットの種類の表示に変わります。

② ユニットを選択

（１）グループに登録するユニットを選択します。



- 室温調節（▲）ボタンを１回押すごとに設定温度表示部のアドレスNo.が下記の順に変わります。
  ボタンを押し続けますと表示は早送りします。

"001" ⟶ "002" ⟶ "003" ⟶ ····· ⟶ "200"

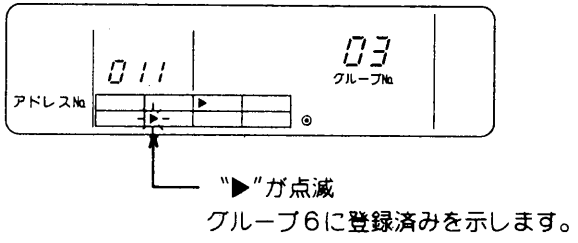
- （▼）は上記とは逆の順に変わります。

◎アドレスNo.設定範囲

エアハンドリングユニット ……	０５１～１００
ＶＡＶユニット ……	００１～０５０
ＶＡＶリモコン ……	１０１～２００

※エアハンリモコンは㊽運動機設定（32ページ）で行います。

（２）登録済みのユニットを選択した場合。

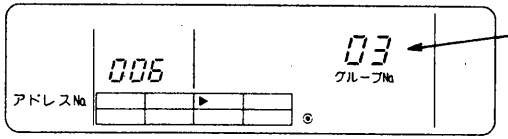


- 選択したユニットがすでに別のグループに登録されている場合、登録はできません。
  （ただし、エアハンドリングユニットはグループをまたいで登録が可能です。）
- 右記表示例の場合グループ３でユニット０１１を選択した場合を示します。

③ ユニットをグループに登録

（１）選択したユニットをグループに登録します。

- ①グループを選択 、 ②ユニットを選択 で選択したグループNo.とユニットのアドレスNo.を表示させた状態で 試運転 ボタンを押します。
- この操作により登録作業は完了します。
- 正常に登録されますと "VC" 等ユニットの種類が点灯します。

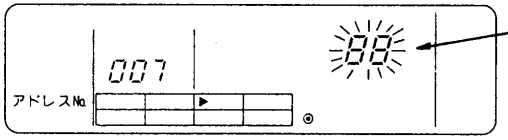


正常に登録されますと「VC」等のユニットの種類が点灯

◎登録完了画面
グループ３にアドレスNo.００６のユニットを登録

（２）異常終了の場合

- 指定したユニットが存在しない場合、または伝送上異常がありますと登録エラーを示す "88" が点滅します。
- この場合ユニットの存在を確認、または伝送線の接続等の確認を行ない ②ユニットを選択 の操作からやり直してください。



エラー表示

◎異常終了の場合

（３）別のユニットを登録

- 登録完了画面にて室温調節 ▲ ▼ ボタンを押しますと次のアドレスNo.が表示されますので、右記の順に作業を行ない登録します。

②ユニットを選択

↓

③ユニットをグループに登録

④ 登録ユニットの検索

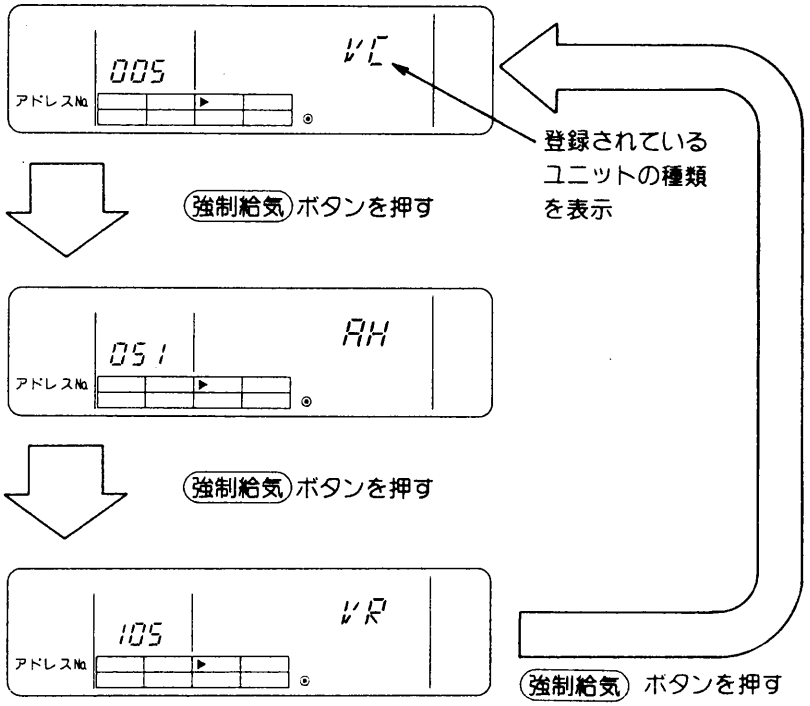
グループに登録してあるすべてのユニットのアドレスNo.を確認できます。

（１）下記操作を行ない検索したいグループを呼び出します。

①グループを選択

（２）グループに登録されているユニットのアドレスNo.を表示させます。

- (強制給気)ボタンを押すたびにグループに登録されているユニットのアドレスNo.を小さい順に表示します。

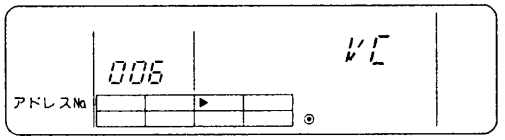


⑤ グループからユニットを削除

（１）削除したいユニットのアドレスを呼び出します。

- 右記操作を行ない削除したいユニットのアドレスNo.を表示させます。
- 表示例の場合グループ３に登録してあるアドレスNo.００６のユニットを削除させます。

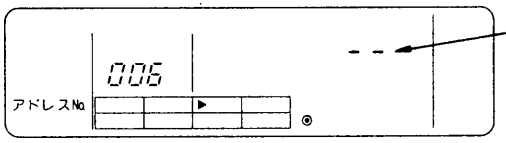
- ①グループを選択 と ②ユニットを選択
- ④登録ユニットの検索 が終了した画面
- ③ユニットをグループに登録 が終了した画面



◎表示例

（２）登録を抹消します。

- （１）の状態で(運転／停止)ボタンを２回押しますと登録は抹消されます。



終了しますとユニットの種類が消灯し「- -」に変わります。

◎抹消完了画面

Ⓑ 連動機設定

●グループ設定で登録したエアハンドリングユニットと連動運転させる機器を設定します。また、エアハンリモコンの接続設定も行います。

●グループ設定を行なった後、連動機の設定を行ないます。
グループ設定にてエアハンドリングユニットが登録されていない場合は連動機の設定はできません。

以下の手順で操作内容を説明します。

①連動機設定画面の呼び出し

↓

②登録ユニットの呼び出し

↓ 連動設定させるエアハンドリングユニットを選択します。

③連動機アドレスNo.の設定

↓ エアハンドリングユニットと連動設定させるユニットを選択します。

④連動機の登録

⑤連動機の検索

⑥連動設定の解除

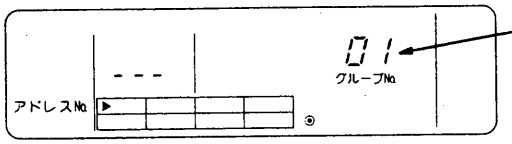
●グループの割り付け

本機アドレスNo.の設定、グループNo.の割り付けにつきましては26ページに示す内容と同じです。

① 連動機設定画面の呼びだし

（１）初期設定モード画面を出します。

●24ページの「5．初期設定モード画面にします」を参照して初期設定モード画面にしてください。

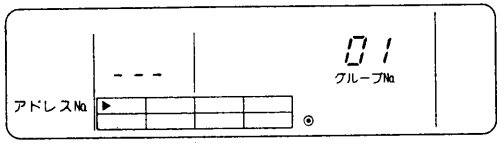


しばらくしますと「- -」の表示に変わります。

◎初期設定モード画面

（２）連動機設定画面を出します。

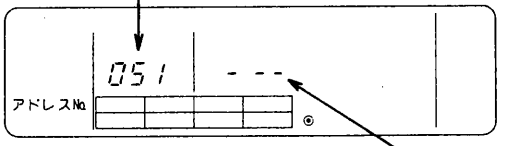
●（運転切換）ボタンを１回押すごとに初期設定モード画面と連動設定画面が切り換わります。



◎初期設定モード画面

（運転切換）ボタンを押す

登録されているエアハンユニットのうちで最小のアドレスNo.を表示します。



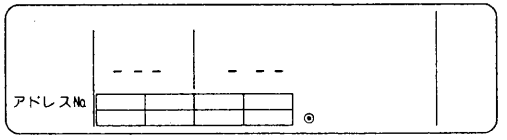
◎連動機設定画面

連動機アドレスNo.表示部

（３）エアハンユニットが登録されていない場合。

●エアハンユニットが登録されていない場合右図のような画面になります。

この場合連動設定はできません。



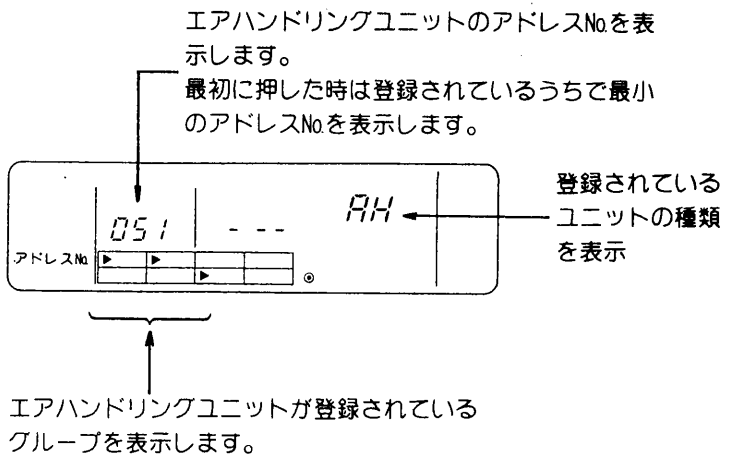
●グループ設定を行なってから連動設定を行なうようにしてください。

② 登録ユニットの呼びだし

登録されているエアハンドリングユニットを呼び出します。

- (強制給気)ボタンを押すごとに登録済みのエアハンドリングユニットのアドレスNo.を番号順に表示します。

- "▶" はエアハンハンドリングユニットが登録されているグループを示します。

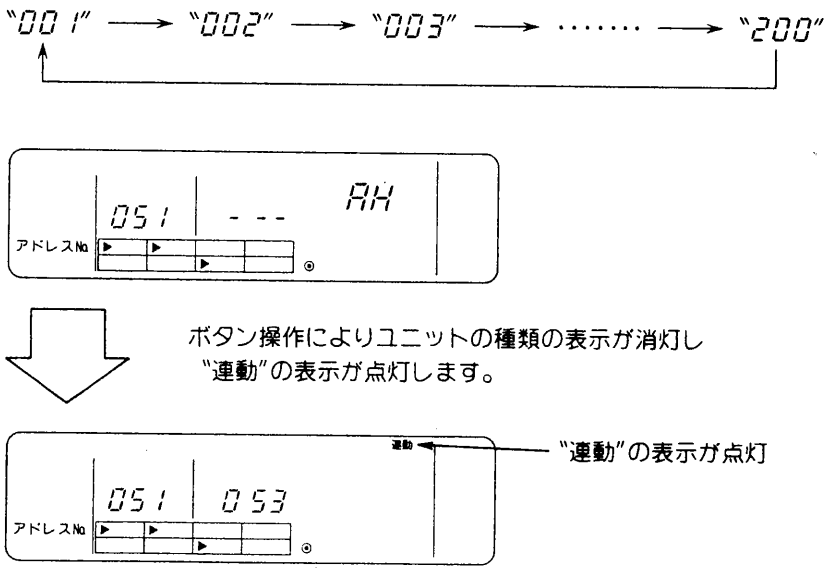


③ 連動機アドレスNo.の設定

連動させる機器のアドレスNo.を表示させます。

- 室温調節(▲)ボタンを押すごとに時刻表示部のアドレスNo.が右記の順に変わります。
  ボタンを押し続けますと表示は早送りします。

- (▼)は上記とは逆の順で変わります。



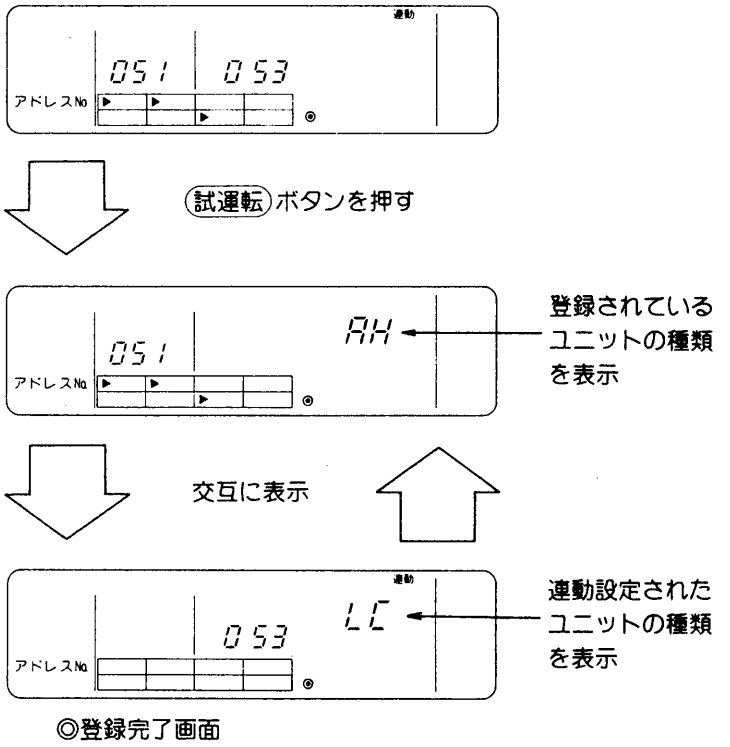
④ 連動機の登録

（１）連動機の登録を行ないます。

- ②登録ユニットの呼び出し、③連動機アドレスNo.の設定で選択したそれぞれのユニットのアドレスNo.を表示させた状態で(試運転)ボタンを押します。

- この操作により連動設定作業は完了します。

- 正常に登録されますと表示は右記の登録完了画面のようになります。
（アドレスNo.０５１のエアハンドリングユニットにアドレスNo.０５３の連動機（ロスナイ）を連動設定したことを示します）

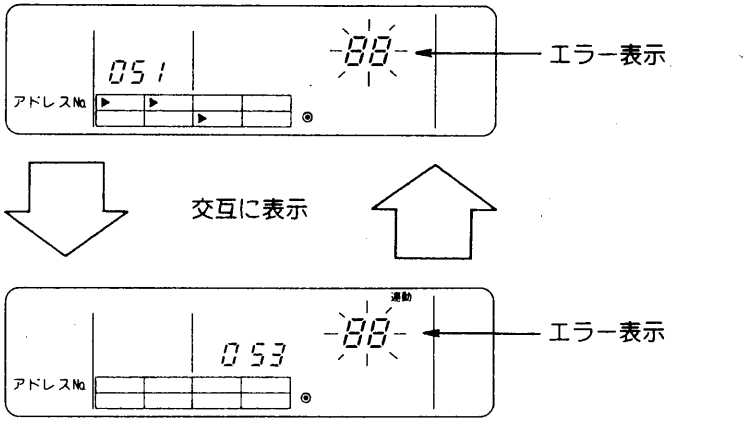


◎登録完了画面

（２）異常終了の場合

- 指定したユニットが存在しない場合、または伝送上異常がありますと、登録エラーを示す“88”が点滅します。

- この場合ユニットの存在を確認、または伝送線等の確認を行なった後、もう一度登録作業を行なってください。



◎異常終了の場合

（３）次の連動設定を行ないたい場合

●次の連動設定を行ないたい場合、前ページの登録完了画面から右記の操作を順に行ないます。

②登録ユニットの呼びだし
↓
③連動機アドレスNo.の設定
↓
④連動機の登録

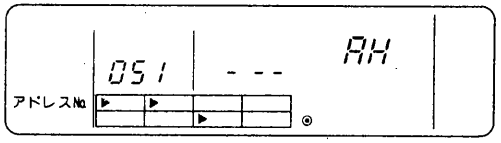
⑤ 連動機の検索

エアハンユニットと連動設定されているユニットのアドレスNo.を確認できます。

（１）エアハンドリングユニットを選択

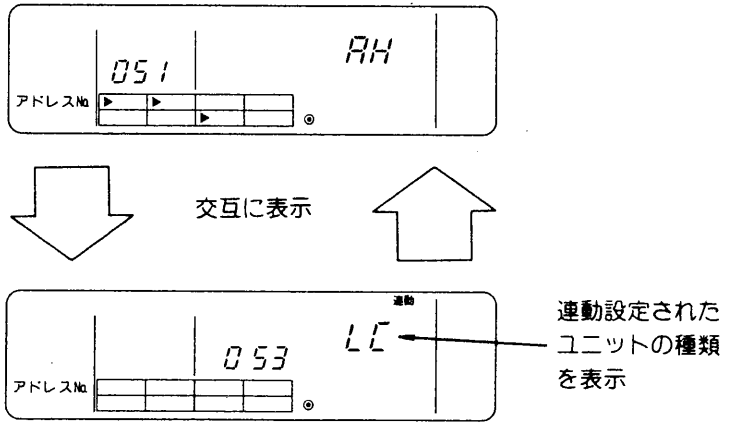
●下記操作を順に行ない検索したエアハンドリングユニットのアドレスNo.を表示させます。

①連動機設定画面の呼びだし
↓
②登録ユニットの呼びだし



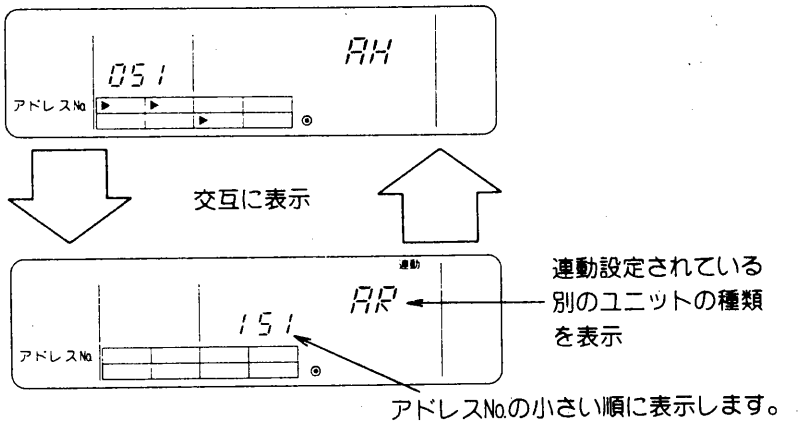
（２）連動設定されているユニットを検索

●(点検)ボタンを押しますと表示されている、エアハンドリングユニットと連動設定されているユニットのアドレスNo.を表示します。



（３）連動設定されているユニットが複数ある場合

●前ページ（２）の状態からさらに(点検)ボタンを押します。
ユニットはボタンを押すごとにアドレスNo.の小さい順に表示します。



●連動設定されているユニットが１台のみの場合ボタンを何度押しても同じ表示のままです。

⑥ 連動設定の解除

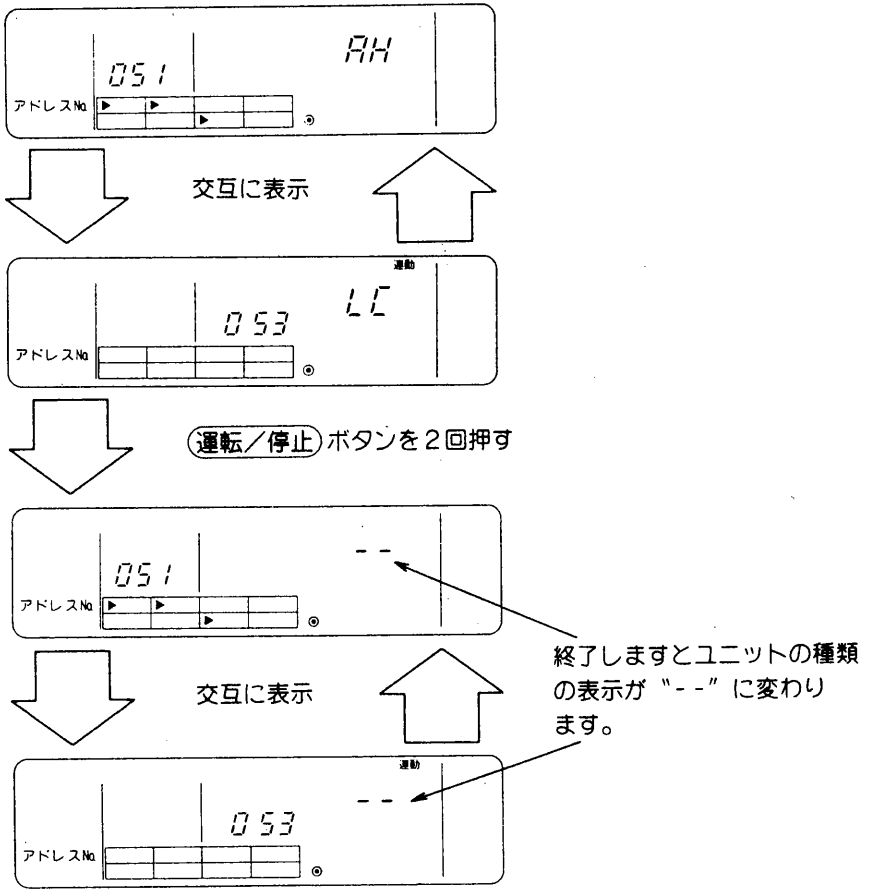
エアハンユニットと連動機の連動設定を解除します。

（１）連動設定されている機器を表示させます。

●下記操作を行ない連動設定を解除させたいユニットのアドレスNo.を表示させます。

⑤連動機の検索 または

④連動機の登録 が完了した画面



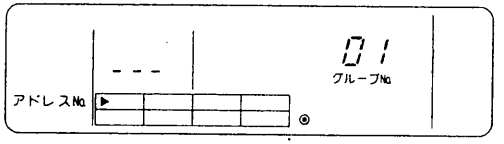
（２）連動設定を解除します。

●この状態で(運転／停止)ボタンを２回押しますと連動設定が解除となり右記の表示になります。

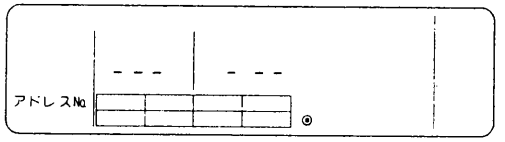
Ⓒ 一括抹消

すべてのグループ設定情報、連動機設定情報を抹消します。

（１）初期設定モード画面、または連動機設定画面を表示させます。



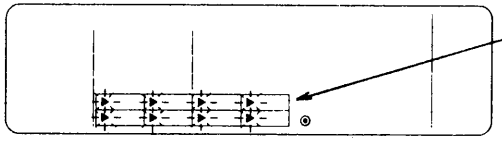
◎初期設定モード画面



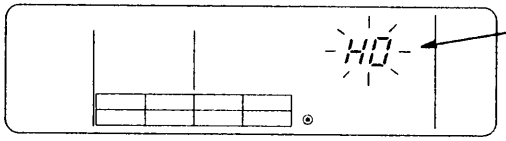
◎連動機設定画面

● この状態で（運転／停止）ボタンを３秒以上押し続けますと設定した情報がすべて抹消されます。

（運転／停止）ボタンを３秒以上押し続ける。



◎一括抹消処理中



◎初期状態

8 自己診断・異常履歴

1．自己診断

ユニットが記憶している異常内容の検索を行ないます。

（1）自己診断を行なうグループ選択します。

●操作部ドアを開けます。

●自己診断を行なうグループを、グループ選択（◀）、（▶）ボタンにて選択します。

（2）自己診断画面にします。

●（1）の画面で（点検）ボタンを２回押しますと自己診断画面になります。

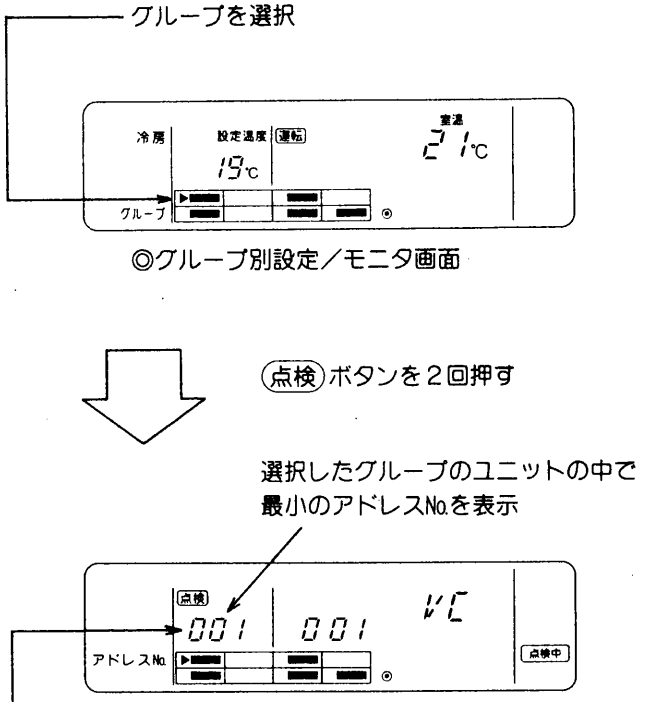
（3）自己診断を行ないたいユニットを選択します。
①、②いずれかの方法で選択します。

①（外部タイマー）ボタンを押すたびに登録されているユニットのアドレスNo.を小さい順に表示します。
（例）アドレス００１、００２、０５１のユニットが登録されている場合。

"００１" ⟶ "００２" ⟶ "０５１"

②室温調節（▲）、（▼）ボタンを押しますと任意にアドレスが表示できます。

グループまたは本機の管理とは関係なく選択できます。

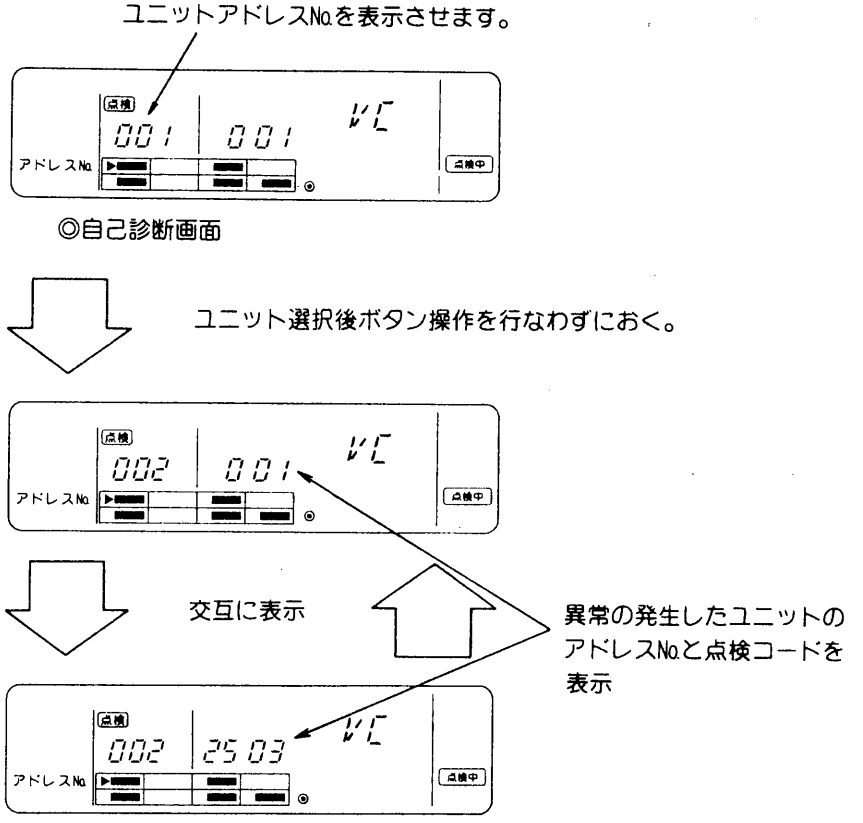


（4）点検コードを表示させます。

●ユニットを選択した状態でしばらくしますと右記のように点検コードを表示します。

●点検コードは次のように表示されます。

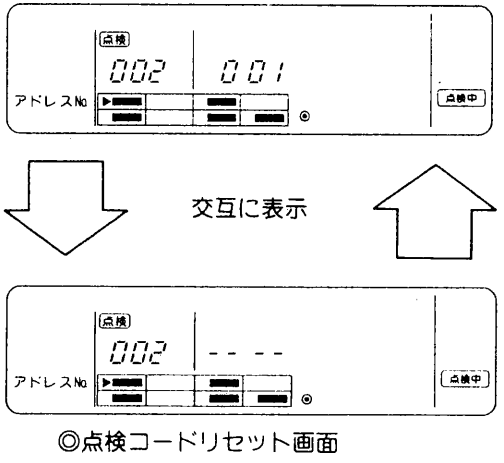
異常ありの場合 …… ４桁の数字
異常なしの場合 …… "----"
存在しないユニットを選択した場合 …… "FFFF"



（5）点検コードのリセット

●（1）～（4）の操作を行ない点検コードの記録を消去（リセット）したいユニットを選択します。

●点検コードを表示させた状態で(運転切換)ボタンを２回押しますと記録されている点検コードは消去されます。



（6）自己診断の終了

下記の①、②いずれかの操作を行なうことにより終了します。

①次の操作を行なうことにより自己診断は終了します。

- (一括運転／停止) ボタン
  この場合すべてのグループのユニットが停止します。
- (運転／停止) ボタン
  この場合選択されているグループのユニットが停止します。

②次の操作の場合自己診断を開始する前の運転状態に戻ります。

- 操作部ドアを閉める。
- グループ選択 (◀)、(▶) ボタンを押す
- (点検) ボタンを２回押す

2．異常履歴モニタ

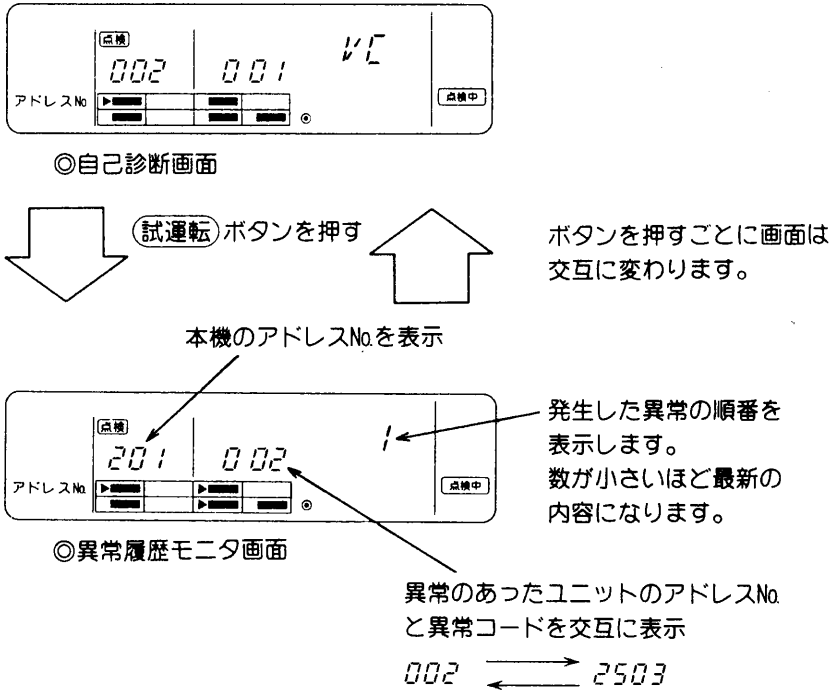
- 本機にユニットから送られ記録されている異常内容の検索を行ないます。
- 異常内容は最大で10個まで記録できます。

（1）1．**自己診断**時の下記状態にします。

- （3）自己診断を行なうユニットの選択画面
- （4）点検コード表示中
- （6）点検コードリセット後

（2）異常内容の検索を行ないます。

- (試運転) ボタンを押します。
- この操作により異常履歴モニタ画面に変わります。



（3）異常履歴の検索

- (外部タイマー)ボタン操作１回ごとに異常内容を１個ずつ表示します。
  一番古い異常内容または10個目の異常内容を表示した後は最新の異常内容に戻ります。

（4）異常履歴のリセット

- （2）、（3）の状態で(運転切換)ボタンを２回押しますと記録されている異常履歴はすべて消去（リセット）されます。

（5）異常履歴モニタの終了

下記のいずれかの操作を行なうことにより異常履歴は終了します。

- (試運転)ボタンを押す。
  自己診断画面に変わります。

- （7）自己診断の終了操作を行なう。
  操作後の画面につきましては41ページ（6）自己診断の終了の項目を参照ください。

三菱電機株式会社

KG79C330H02